



平成 27 年 6 月 5 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 U M N フ ァ ー マ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 平 野 達 義  
(コード番号：4585 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 財 務 部 長 橋 本 裕 之  
電 話 0 4 5 - 2 6 3 - 9 2 0 0

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 2 月 13 日に公表した平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の連結及び個別の通期業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 平成 27 年 12 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,224	△878	△1,025	△1,033	△108 14
今回修正予想 (B)	2,254	△1,697	△1,844	△1,852	△193 54
増減額 (B-A)	△2,969	△818	△818	△818	—
増減率 (%)	△56.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	1,108	△3,942	△4,249	△3,961	△452 34

#### 2. 平成 27 年 12 月期 通期個別業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,224	△446	△450	△47 12
今回修正予想 (B)	2,206	199	196	20 50
増減額 (B-A)	△3,018	646	646	—
増減率 (%)	△57.8%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	1,108	△2,820	△2,822	△322 29

#### 3. 業績予想の修正理由

##### (1) 連結業績予想

UMN-0502（組換えインフルエンザ HA ワクチン（多価）、以下、「UMN-0502」といいます。）について、平成 26 年 5 月に提携先であるアステラス製薬株式会社が、インフルエンザの予防の効能・効果で、厚生労働省に対して製造販売承認申請を行い、審査対応を共同で進めております。しかし、現時点の審査状況から、当社業績予想の前提となる承認取得時期が想定より遅れる見込みとなりました。

季節性インフルエンザワクチンの接種は、通常 10 月より 12 月までがピークであります。一方、承認取得日の属する事業年度においては、承認取得後の諸手続きの要因により、承認取得時から出荷開始まで 2.5 ヶ月

から3ヶ月程度の期間が必要となります。承認取得時期が当社の当初想定から遅れる見込みとなったことにより、出荷開始時期が接種シーズンのピークに間に合わない可能性が高くなりました。出荷開始が接種シーズンのピークに間に合わない場合、平成27年2月13日開示「平成26年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）1. 経営成績・財政状態に関する分析（4）事業等のリスク ①医薬品開発に関する一般的なリスク c）ワクチンの返品に関する製造業者負担について」に記載のとおり、当初想定より返品引当計上額を積み増す等の対応が必要となることが見込まれます。また、医療現場への影響、返品に係る当社連結及び個別業績への影響も鑑み、諸事情を総合的に検討した結果、2015年～2016年シーズンにおける出荷は見送る判断をいたしました。これらの要因により、平成27年12月期の売上高の予想を下方修正いたしました。

一方、費用面におきましては、出荷を見送ったことに伴い、当社連結子会社である株式会社UNIGEN 岐阜工場における原薬製造に係る製造原価のうち原材料費、水道光熱費、派遣人件費等の変動費、並びに製剤化の委託外注費、当社技術導入元であるProtein Sciences Corporation（以下、「PSC」といいます。）への販売に係るランニングロイヤリティの支払等が減少し、またその他固定費及び一般管理費等の費用見直しを行った結果、大幅な費用減少が見込まれるものの、岐阜工場の維持費用及び審査対応に係る試験研究費が一定程度発生することから減収の影響を吸収しきれない結果、営業損失、経常損失及び当期純損失が前回予想と比べ拡大する見込みであります。

なお、平成27年2月13日開示「平成26年12月期 決算補足説明資料」のP29に記載している「平成27年度～平成30年度中期経営計画 連結損益計画」における平成28年12月期中計以降への影響はございません。

## （2）個別業績予想

平成27年12月期の売上高の減収要因は、連結業績予想に記載のとおりであります。

一方、費用面におきましては、UMN-0502の2015年～2016年シーズンの出荷見送りに伴い、株式会社UNIGENからの原薬仕入費用、製剤化の委託外注費、PSCへの販売に係るランニングロイヤリティの支払等の減少に加え、その他固定費及び管理費等の費用見直しを行った結果、大幅な費用減少が見込まれることにより、経常利益、当期純利益を計上する見込みとなりました。

当社グループは、ステークホルダーの期待に応えるべく、UMN-0502の製造販売承認が早期に得られるよう、当局による審査対応に経営資源を集中的に投じ、中長期における企業価値向上の責務を果たしてまいり所存でございます。

（注）上記業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上